

植物防疫情報第4号

令和2年7月14日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

葉いもちの早期発見と防除に努めましょう！

7月6～8日の病害虫防除所の巡回調査によると、**葉いもちの発生ほ場率は県下全域で10.0%と平年(5.0%)よりやや高くなっています。**

イネいもち病発生予測システム(BLASTAM-メッシュ岡山版)を用いた葉いもち感染(感染後10～14日で病斑が目立つ)好適条件の判定によると、**県内アメダスポイント15か所における6月25日～7月9日の感染好適条件出現回数は計73回で(表1)、過去10年間で最も多くなっています(平均43回)。**また、7月9日発表の広島地方気象台の1か月予報によると、7月11日～24日までは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いとされており、既に葉いもちが発生している圃場では、稲体のずり込み(図1)や穂いもち発生につながる恐れがあります。**圃場内での葉いもちの発生状況に注視し、葉いもちが発生している圃場では、出穂前に防除を徹底しましょう。**

(防除上の参考事項)

- 葉いもち予防粒剤(箱施用剤、水面施用剤、投げ込み施用剤)を施用した圃場でも発生する。葉いもちは、穂いもちに進展する可能性が高いため、圃場をよく観察し、葉いもち確認後は液剤または粉剤を直ちに散布する(表2)。特に進展型病斑(図1)は、伝染力が高いので注意する。
- 穂いもちの薬剤防除は、予防散布が効果的である。液剤及び粉剤は出穂直前及び穂首出揃期の2回散布し、多発が予想される場合は傾穂期の散布を行う(表2)。粒剤の場合は、出穂前までに行うが、薬剤によって施用時期が異なるので、注意する(表3)。
- 出穂前後の窒素過多は穂いもちの発生を助長するので、穂肥、実肥の施用時期及び量に注意する。
- 本県ではストロビルリン(QoI)系の薬剤に対する耐性菌の発生が確認されているため、防除効果の低下が確認されない場合でも、本剤の使用は最大で年1回とする。

表1 BLASTAMによるいもち病(葉いもち)感染好適日の推定結果(6月25日～7月9日)

月・日	北部				中部				南部						
	上長田	千屋	奈義	古町	新見	久世	津山	福渡	和気	高梁	岡山	虫明	倉敷	笠岡	玉野
6月25日			●	●	●	●	●			●	●	●	●		
6月26日						●	●		●						
6月27日															
6月28日	●	●	●	●		●	●	●				●		●	
6月29日															●
6月30日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	
7月1日	●	●	●	●		●	●	●	●						
7月2日															
7月3日															
7月4日			●	●	●				●						
7月5日				●						●					
7月6日									●		●	●	●	●	
7月7日			●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
7月8日		●	●	●	●	●	●	●							
7月9日															

●：感染好適条件 (前5日間の平均気温は19～25℃、湿潤時間中の平均気温は15～25℃で、湿潤時間がいもち病の感染条件を満たす)



図1 葉いもちの病徴（左図：進展型病斑、中央：停滞型病斑、右図：ずり込み）

表2 主な本田防除粉剤及び液剤（下記単剤のほか下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤コード ^{注)}
	散布量・希釈倍数	時期	回数	
トライフロアブル	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	U16
フジワン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内	6
ビーム粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	16.1
ビームゾル	1,000倍			
ラブサイド粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	16.1
ラブサイドフロアブル	1,000～1,500倍			
ブラシン粉剤DL	3～4 kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	U14+16.1
ブラシンフロアブル	1,000倍			

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

表3 主な本田防除粒剤（下記単剤のほか下記成分を含む混合剤）

薬剤名	農薬使用基準			殺菌剤コード ^{注)}
	散布量・希釈倍数	時期	回数	
オリブライト1 [※] 粒剤	1 kg/10a	出穂10日前まで (但し収穫45日前まで)	1回以内	11
オリブライト250G	250g/10a			
オリゼメート粒剤	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂3～4週間前 (但し収穫14日前まで)	2回以内	P2
ゴウケツ粒剤	3～4 kg/10a	出穂5日前まで (但し収穫30日前まで)	1回以内	16.3
サンプラス粒剤				
ゴウケツパック				
サンプラスパック				
コラトップ粒剤5	3～4 kg/10a	葉いもちには初発10日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前まで	2回以内	16.1
コラトップジャンボP	小包装（パック）10～13個（500～650g）/10a	葉いもちには初発20日前～初発時 穂いもちには出穂30～5日前まで		
フジワン粒剤	3～5 kg/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫30日前まで)	2回以内	6
フジワンパック	小包装（パック）10～15個（750～1,125g）/10a	葉いもちには初発7～10日前 穂いもちには出穂10～30日前 (但し収穫14日前まで)		

注) FRACコードによる農薬有効成分の作用機構の分類

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど、安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

